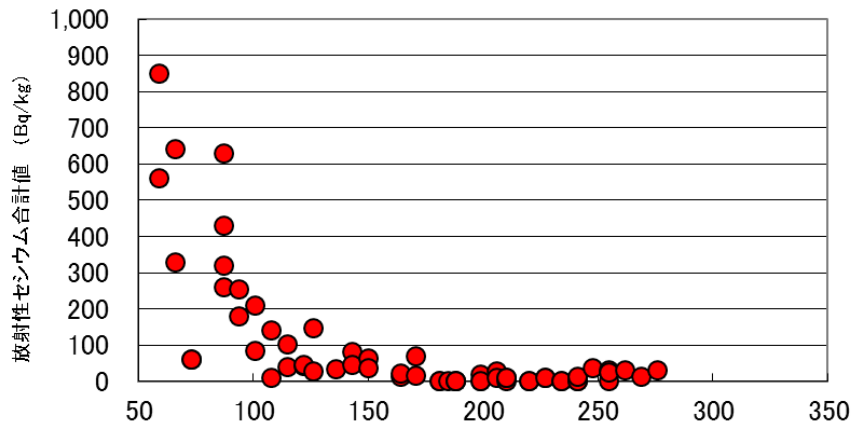


## 魚種別の傾向【シラス：カタクチイワシの稚魚】

<コメント>

震災後間もない時期には暫定規制値の500Bq/kgを超えましたが、その後は低下し、130日以降は100Bq/kg以下で推移しています。



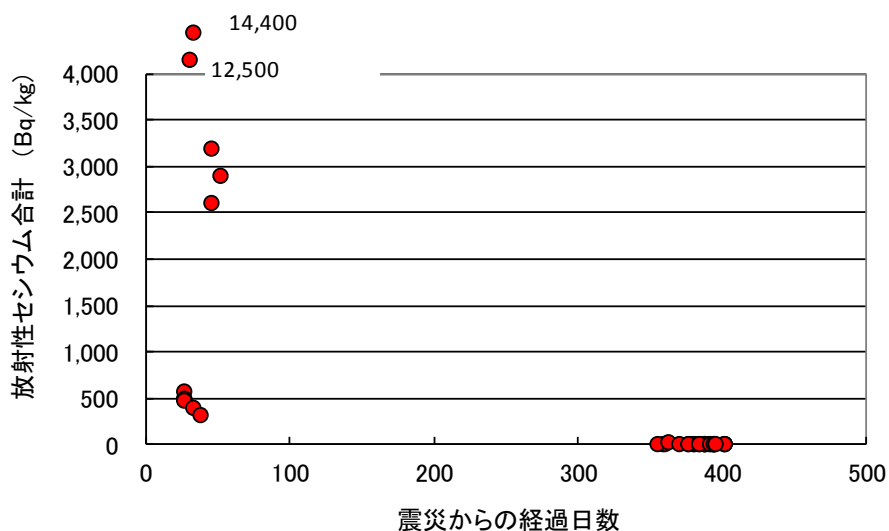
震災からの経過日数(日)

カタクチイワシ(シラス)の放射性セシウム濃度  
(平成24年2月8日現在)

## 魚種別の傾向【コウナゴ：イカナゴの稚魚】

<コメント>

震災直後は非常に高い値でしたが、平成24年生まれのコウナゴについては、ほとんどが不検出となっています。



コウナゴの放射性セシウム濃度  
(平成24年4月18日現在)